

目次

【はじめに】……………2

第一章 現れる事象には必ず「手前」がある

- 【第1項】私の最初の仕事は「隙間」を発見することです……………10
- 【第2項】中1ギャップ……………14
- 【第3項】学校側から見た入試の位置づけとは……………18
- 【第4項】手前に気づいていない……………22
- 【第5項】書く子 書かない子……………26

第二章 実証

- 【第1項】丁寧に向かい合うことから始めます……………32
- 【第2項】本が担う役割がある……………37

【第3項】 国語読解指導で実証できたこと…………… 43

第三章 母は強し！

【第1項】 3万冊の読み聞かせをなさったお母さま…………… 60

【第2項】 私にあるとすれば、執念でしょうか…………… 65

【第3項】 母は強し！…………… 69

【第4項】 ときには「通訳」を担うこともある…………… 75

第四章 両極の子

【第1項】 難しい算数が楽しい…………… 84

【第2項】 試験前は遊ぼう…………… 87

【第3項】 さかん坊…………… 91

【第4項】 特に夏休みがおもしろい…………… 96

第五章 大切にしたい絶妙なこと——距離感・出会い

- 【第1項】子どもたちの間では文化になっている……………108
- 【第2項】生徒さんとLINEをつなぐと……………112
- 【第3項】LINEの機動力と個別指導……………115
- 【第4項】残念な結果にならないために……………120
- 【第5項】出会いは絶妙に……………129

【おわりに】……………133